



セキュリティの インシデント対応を 体験しませんか？

参加費無料

サイバーインシデント演習

in 富山

日時 令和5年2月8日(水)

※受付開始13:30～

14:00～17:00

会場 富山県民会館 701会議室

富山県富山市新総曲輪4-18

定員 40名 ※定員になり次第、受付を終了いたします



■対象者：中小企業／団体等の経営層、
セキュリティ責任者及び情報システム運用担当者の方等

中小企業は、サプライチェーンの最前線を担い、多くの取引先や関連企業と日々やり取りを行っていますが、サイバー攻撃を受けた場合に備えて、社内で意識を持ち、体制を構築した上で、セキュリティインシデント発生時の対応方法や手順などを共有しておくことが重要となっています。

また、地方公共団体においても、DXの取組を進める上で、様々なセキュリティインシデントへの対応を求められる機会が飛躍的に増えています。

そこで、最近のサイバーセキュリティインシデントの発生状況や、被害拡大を最小限にとどめるための基本的事項を説明し、擬似的なインシデント発生時対応手順を体験することにより、組織内の基本方針やルールなどを考えていただくことを目的として「サイバーインシデント演習」を開催します。

是非、この機会にインシデント対応の演習をご体験ください。

プログラム、参加申込方法は裏面へ

共催：総務省北陸総合通信局、経済産業省中部経済産業局、
北陸サイバーセキュリティ連絡会、北陸情報通信協議会（予定）

> 第1部 サイバーセキュリティ講演 [14:00~15:00]

■「サイバー攻撃の情勢及び対応策について」

昨今話題となっているインシデント事例などを紹介しながら、サイバー攻撃による被害拡大を最小限にとどめるインシデント対応の流れを解説します。

> 第2部 サイバーセキュリティ演習 [15:00~17:00]

■「セキュリティ事件・事故発生時の効果的な対応について」

- ・第1部の内容を踏まえ、参加者によるグループワークを実施します。机上演習として疑似的なインシデント対応を体験いただき、インシデント発生から対応の検討、評価までのサイクルを、参加者が互いにディスカッション・意思決定しながら進めていく形をとります。



事態発生

対応検討

対応評価



※新型コロナウイルス対策を行った上で机上演習の要素を取り入れたグループワークを予定

講師：株式会社川口設計

代表取締役 川口 洋氏

2002年 大手セキュリティ会社にて社内のインフラシステムの維持運用業務ののち、セキュリティ監視センターに配属
2013年~2016年 内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)に出向。行政機関のセキュリティインシデントの対応、一般国民向け普及啓発活動などに従事。
2018年 株式会社川口設計 設立。Hardening Projectの運営や講演活動など、安全なサイバー空間のため日夜奮闘中。



【新型コロナウイルス感染防止に関するお願い】

開催にあたりましては、新型コロナウイルスの感染予防対策（会場入口での検温およびアルコール消毒の設置等）を十分に取りますが、次のことにつきましてご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染状況により「オンライン」のみの開催になる可能性があります。

- ・発熱や咳等の風邪症状など体調不良がみられる場合は、参加をお控えください。
- ・手洗いや咳エチケットの徹底をお願いします。また、会場入り口のアルコール消毒をご活用いただくとともに、マスクの着用をお願いします。

「サイバーインシデント演習」 参加申込み

■参加ご希望の方は、QRコードもしくは申込ページよりお申込み下さい。

【申込み期限】：令和5年2月3日（金）まで

申込ページURL：<https://www.kiis.or.jp/form/?id=73>



※本イベントの申込受付及びご案内等は、請負事業者である一般財団法人関西情報センター（KIIS）が行います。

【本件お問い合わせ】北陸総合通信局 サイバーセキュリティ室

TEL：076-233-4470 / e-mail：security-hokuriku@soumu.go.jp